B
2026 NOVEMBER
［第2076回］

イラスト：IKE／文：松井治伸

《くるみ割り人形》で響かせた最先端の音色

チャイコフスキーとチェレスタ

チャイコフスキーのバレエ音楽《くるみ割り人形》には、チェレスタが使われています。鍵盤を使って細い金属の板をたたく楽器で、澄んだ可憐な音がします。《くるみ割り人形》の作曲当時、チェレスタは開発されたばかりでした。旅行先のパリの楽器店でその音色に魅せられたチャイコフスキーは、さっそく作品に取り入れました。〈情景（砂糖の山の魔法の城で）〉では、キラキラと音楽に彩りを添え、〈こんぺい糖の精の踊り〉では、幻想的なソロを聴かせます。チャイコフスキーは最新の楽器も駆使して、お菓子の国の情景にぴったりの音楽を作ったのです。



チェレスタの虜になったチャイコフスキーは
誰よりも早く自作に取り入れるため
他の作曲家に隠れて密かに購入したという

©IKE